

次期八戸市総合計画の策定コンセプト（案）について

1. 総合計画を取り巻く傾向等について

総合計画は一般的に基本構想（理念）、基本計画（施策の方向性等）、実施計画（施策の方向性に沿った取組）の3つの要素で構成されている。

基本構想は市の将来ビジョンを示すことから、長期的な視点で考えていくため、時代の変化によっても揺るぎにくい性質を持っている。

一方、基本計画は、基本構想を実現するために、中期的な視点で施策方向性等を考えていくこととなるが、時代の変化が速く、次々と課題が顕在化する近年においては、影響を受けやすく、策定して以降、経年とともに形骸化していく傾向がある。

よって、基本構想部分は長期的な視点を持ちつつ、基本計画部分は柔軟性・機動性の視点を持つことができるよう、以下のコンセプトを持ちながら策定をする。

2. 次期八戸市総合計画の策定コンセプト（案）について

- ①基本構想は、10 年程度先の当市の将来都市像実現を目指すために掲げる計画の要となる部分であり、市民との共有を図るため、わかりやすく表現する。
- ②基本計画は、時代の変化に適時適切に対応するため、柔軟性かつ機動性を確保できるものとする。
- ③実施計画相当として取り扱う未来共創推進戦略は、中期的な方向性を見据えつつ、毎年度発生する喫緊の課題等への対応を踏まえた内容とする。
- ④進捗管理は、各課が策定する個別計画の指標との整合性を持たせるほか、市民意識調査等の結果を活用するなど、わかりやすい進捗管理を図る。